



人的交流プロジェクトチーム発行
R7・8号
令和8年2月
小田原支援学校 支援連携部

題字:小田原支援学校 大井分教室生徒作品

絵本「おひさまになったひとみちゃん」

小田原支援学校知的障害教育部門の3年生が、聴覚障害のある女性の前向きな生き方をテーマとした絵本「おひさまになったひとみちゃん」を、昨年度美術の授業で共同制作し、絵本と生徒からの手紙、歌詞カードや絵本のもとになった「ニコニコおひさま」の歌のDVDとともに、今年度県西2市8町と、二宮町、大磯町のすべての小学校に贈りました。この取り組みを行った、知的障害教育部門高等部3年生が、令和7年度神奈川県立学校の児童・生徒表彰にて、表彰されました。

また、その取り組みに注目してくださった、神奈川県教育委員の方々からの働きかけにより、より広く県民と先生方に周知されるようにと、神奈川県立図書館と神奈川県立総合教育センターにおいて、企画展示および配架されることになりました。

神奈川県立図書館では、一階総合カウンターの前企画展示のコーナーで、3月22日まで写真のように展示されています。お近くにお越しの際は、是非ご覧ください。

小田原市内の小学校では、道徳の授業の中で絵本を活用していただき、「どんな生きた証を残していきたいか。」について考えたということです。また、二宮町の小学校でも、道徳の教材として活用していただいているということです。歌と絵本を通して、主人公のひとみさんの思いが語り継がれ、すべての子どもたちが明るく元気に生きていくことを願っています。

※絵本「おひさまになったひとみちゃん」について

聴覚に障害がありながらも努力を重ね、前向きに生きた、二宮町出身のひとみさん。2018年10月に、念願の海外留学が決まった年に不慮の事故により21歳の若さで命を落しました。その前向きな生き方を子どもたちに伝えたいという思いから、オリジナルソング「ニコニコおひさま」が生まれました。さらに、この歌に込められたメッセージをより多くの子どもたちに届けるため、小田原支援学校の生徒たちが半年間かけて絵本「おひさまになったひとみちゃん」を作成し、昨年度小田原校舎の小学部・中学部に生徒たちが読み聞かせを行い、今年度地域の小学校に贈りました。



県立図書館の展示



昨年9月から県西地域の小中学校等で、足柄小学校の派遣教員と小田原支援学校によるインクルーシブ出張授業を実施しています。

現在11校から依頼があり、支援グッズ(イヤーマフ、パーテーション、バランスクッション、感触グッズなど)を通して相互理解を深め、みんなが笑顔で安心して過ごしていく方法を考えるなど、インクルーシブマインドを育む授業を行っています。授業後に支援グッズの貸し出しも行い、理解を深めることにつながっています。早速イヤーマフを学校で購入し、通常の学級に置いている学校もあるようです。授業参観で行った学校もあり、保護者の方からも知ることができてよかったという感想をいただきました。小田原支援学校のホームページに、授業の指導案や資料なども載せ、地域の先生方に活用してもらえればと思っています。

